

\* 特別公開「雛と雛道具」展示作品リスト \*

NO.	名称	数量	年代	所蔵
弥千代の雛と婚礼調度				
1	やちよ ひな 弥千代の雛	1対	江戸時代後期	本館蔵(井伊家伝来資料)
2	やちよ ひなどうぐ 弥千代の雛道具	85件	江戸時代後期	本館蔵(井伊家伝来資料)
3	やちよ かご 弥千代の駕籠	1棹	江戸時代後期	本館蔵(井伊家伝来資料)
旧家の雛				
4	ひなだんかざ 雛段飾り	1揃	昭和時代前期	本館蔵(加納基弘氏寄贈)
5	こきんびな 古今雛	1対	江戸時代末期	本館蔵
6	こきんびな 古今雛	1対	江戸時代末期	本館蔵(森嶋美代子氏寄贈)
7	こきんびな 古今雛	1対	江戸～明治時代	個人蔵
8	ひなごてんかざ 雛御殿飾り	1揃	昭和時代前期	本館蔵(青柳和子氏寄贈)
9	ひなごてんかざ 雛御殿飾り	1揃	明治33年(1900年)	本館蔵(山本高嗣氏寄贈)
10	ひなごてんかざ 雛御殿飾り	1揃	昭和時代前期	本館蔵(尾賀信子氏寄贈)
11	まめにんぎょう・だいどころどうぐ 豆人形・台所道具	1揃	大正～昭和時代	本館蔵(山田米子氏寄贈)
12	みつおりにんぎょう 三折人形	2躯	大正～昭和時代前期	本館蔵(若山夏江氏寄贈)
13	いちまつにんぎょう 市松人形	1揃	昭和時代初期	本館蔵(平居圭子氏寄贈)



### 3 弥千代の駕籠 1 棹

縦82.3cm 横112.2cm 高106.5cm

江戸時代後期

本館蔵（井伊家伝来資料）

弥千代の婚礼調度として調えられた駕籠です。黒漆塗に井伊家の家紋の橘紋と、松平家の家紋の葵紋が、松竹梅の模様とともに金蒔絵で表わされています。随所に飾り金具が付けられ、内側には鮮やかな彩色で花鳥画が描かれています。

なお、この駕籠のミニチュアである雛道具の駕籠も展示いたします。実物と見比べることで、ミニチュアの精巧さをじっくりご覧いただくことができます。



### 5 古今雛 一対

男雛 高 44.5cm 女雛 高 43.4cm

江戸～明治時代

本館蔵

男雛と女雛の一対。公家風の衣装をまとった内裏雛の一種で、江戸時代明和年間（1764～1772）に江戸の人形師原舟月が創始した古今雛と呼ばれるものです。造作は細やかに整っており、目元や口元、髪の毛の生際などの細部を描き出す柔らかな筆遣いは、制作者の確かな技量を感じさせます。



### 9 雛御殿飾り 一揃

高 64.5cm

明治33年(1900年)

本館蔵（山本高嗣氏寄贈）

紫宸殿を模した御殿の中に男雛と女雛、官女を、御殿の周りには隨身や仕丁などを配した雛御殿飾りの一揃です。雛御殿飾りは、江戸時代の末頃から盛んに行われるようになり、明治時代に広く普及しました。

この御殿飾りは、明治33年(1900年)3月に生まれた千代という女性の初節句のために、京都で制作されたものです。御殿は大振り（はつぜつく）で、飾り金具をあしらった葺戸（しとみど）や房飾り（みす）の付いた御簾など、細部まで丁寧に作り込まれています。明治期の雛飾りを今に伝える貴重な優品です。

